

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

109

ふりがな 氏名	なかに じゅん 仲谷 淳
所属先	所属先名称 イノシシ総合研究所
	役職名 代表
専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲手法 <input checked="" type="checkbox"/> 侵入防止技術 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 地域合意形成 <input checked="" type="checkbox"/> 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） <input checked="" type="checkbox"/> 利活用（食肉利用等） その他（ ）
対象鳥獣	<input checked="" type="checkbox"/> シカ <input checked="" type="checkbox"/> イノシシ <input checked="" type="checkbox"/> サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）
対応可能地域	<input checked="" type="checkbox"/> 全国 北海道 東北 関東 北陸 東海 <input checked="" type="checkbox"/> 近畿 中国 四国 九州 沖縄 <input checked="" type="checkbox"/> その他※特定の都道府県、地域（特に、近畿および和歌山県）
免許及び資格	狩猟免許（銃：取得年 年、 わな：取得年 年） 鳥獣保護管理（ ） 鳥獣保護管理士（鳥獣管理技術協会理事） その他（ ）

活動実績	
活動期間	おもに平成元年4月以降
地域	全国（①山形県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、石川県、三重県、和歌山県、熊本県などの自治体等、②全国の鳥獣管理士取得および取得予定者）
対策の種類 ※該当に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲手法 <input checked="" type="checkbox"/> 侵入防止技術 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 地域合意形成 <input checked="" type="checkbox"/> 野生動物管理（生息調査含む）処理（焼却・減容化） <input checked="" type="checkbox"/> 利活用（食肉利用等） その他（ ）
対象獣種 ※該当に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> シカ <input checked="" type="checkbox"/> イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）
活動の内容	<p>①地域対策について総合的に助言している。なかでは、箱わなを利用したイノシシの捕獲手法に課題が多く、わなの設置場所、餌付けの方法について、地域住民や鳥獣担当職員などに解説するとともに、定期的に現地を訪れて状況の把握に努めた。とりわけ、餌付けに対する誤解が多く、箱わなの技術レベルの改善が急務となっている。箱わなによる捕獲は捕獲数の増加に貢献しても、野生動物を定着させ、被害を深刻化させる危険もあり、高度な運用技術が必要で、安易な設置は逆効果を生む危険があることに注意したい。また、合わせて周辺環境整備として、無意識の餌付けとなる放任果樹の撤去や潜み場となる茂みの整備についても助言するなど、地域合意形成や野生動物管理なども含めて総合的な対策を進める必要を紹介している。</p> <p>これまで、イノシシやシカなどの野生動物が生息しなかった地域の対策としては、野生動物を定着させない「予防的対策」の重要性についても、紹介およびアドバイスしている。さらに、捕獲実績を活用した生息数の推定法などについても助言を行っている。</p> <p>②主にイノシシに対応して、捕獲手法、侵入防止技術、周辺環境整備、地域合意形成、野生動物管理について、また、利活用については、野生動物全般について解説、アドバイスを行った。</p>